

授業科目一覧表

教育内容		授業科目	単位	時間	科目のねらい
基礎分野	科学的思考の基礎	情報科学	1	30	・情報機器を活用できる能力を養い、情報の重要性を認識する。
		生命科学	1	30	・生命における様々な生命現象を細胞の構造や体内の科学物質からとらえ、理解する。
		文章表現	1	30	・論理的思考及び文章表現について学ぶ。
	人間の生活と社会の理解	人間関係論	1	30	・人間関係に関する基礎理論及び人間関係における諸問題を解決する知識と能力を学ぶ。
		文化人類学	1	30	・異文化における人々の生活習慣、健康・病気についての考え方を学ぶ。
		家族論	1	30	・現代における家族形態や家族観の変化について学ぶ。 ・現代における家族の課題とその支援について学ぶ。
		教育学	1	30	・教育内容や機能・制度のあり方を学びながら、看護と教育の関わりを考察する。 ・教育学の知識を身につけ、学生自身の教育体験を振り返り、看護師として教育にどのように関与するかの目標を明らかにする。
		英語 I	1	30	・外国人患者にも的確な対応ができるように必須な表現を覚える。
		英語 II	1	30	・カルテに書かれている英語の語彙に触れる。 ・医学用語を修得する。
	13 単位	英会話 I	1	15	・国際社会に対応するため、外国語に親しみ、表現能力を身につける。
		英会話 II	1	15	・国際社会に対応するため、外国語に親しみ、表現能力を身につける。
		保健体育	2	60	・生涯にわたっての運動の必要性を理解し、その理論と実践を学ぶ。
	360 時間	組織論	1	30	・人間社会の規範及び各種諸問題を組織論的に解決する方法を学ぶ。
生化学		1	30	・生命現象を可能にしている化学変化や体内の恒常性維持機構について学ぶ。	
専門基礎分野	人体の構造と機能	看護形態機能学 I	1	30	・人間が生き続けるからだのしくみを学ぶ。
		看護形態機能学 II	1	30	・人間が生きるための日常生活行動を学ぶ。
		病理学	1	30	・疾病の成り立ちと人体に生じる変化について学ぶ。
	疾病の成り立ちと回復の促進	治療概論 I	1	30	・診断と治療の基礎的知識を学ぶ。(臨床検査・放射線療法・手術療法・リハビリテーション・医療機器)
		治療概論 II	1	30	・薬物の特徴、作用の基礎知識及び薬物の管理について学ぶ。
		治療概論 III	1	30	・微生物の生態を学び、人体に及ぼす影響や反応及び滅菌・消毒に関する知識を学ぶ。
		病態治療論 I	1	30	・呼吸器系と感覚器系(耳鼻咽喉)の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論 II	1	30	・循環器及び血液・造血器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論 III	1	30	・消化器系と運動器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論 IV	1	30	・内分泌・代謝と腎・泌尿器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論 V	1	30	・脳・神経系と感覚器系(眼)の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論 VI	1	30	・小児の成長発達と特有な病気の原因、診断、治療について学ぶ。
		病態治療論 VII	1	30	・女性生殖器の形態機能の特徴と健康障害による形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論 VIII	1	30	・精神の病気と治癒過程を促進するための知識を学ぶ。
		21 単位	医療論	1	15
看護管理概論	1		30	・看護管理の基礎を学び、患者ケア・看護サービス提供のマネジメントについて学ぶ。	
公衆衛生学	1		15	・人と環境との関わりが健康に及ぼす影響を理解し、社会における組織的な保健活動について学ぶ。	
社会福祉	1		30	・社会福祉の概念を理解し、社会保障制度及び社会福祉援助活動について学ぶ。	
関係法規	1		15	・看護に必要な法規を学ぶ。	
栄養学	1		30	・ライフサイクルにみあった食事と健康障害の特徴における食事療法について学ぶ。	
専門分野 I	基礎看護学	看護学概論	1	15	・看護の全体像と保健医療における看護の役割について学ぶ。
		看護学原論	1	30	・科学的看護論に基づいた看護の考え方や看護を展開する方法を学ぶ。
		コミュニケーション論	1	15	・看護場面における効果的なコミュニケーション技術の方法を学ぶ。
		コミュニケーション技術	1	30	・患者や医療従事者との関わりが自然にもてるようにコミュニケーション力を育む。 ・看護場面を再構成して客観的に評価するための方法論を学ぶ。
		フィジカルアセスメント I	1	30	・健康障害をもつ対象を把握し、アセスメントする技術を修得する。
		フィジカルアセスメント II	1	30	・健康障害をもつ対象を把握し、アセスメントする技術を修得する。
		看護共通基本技術	1	30	・看護技術の概念と看護場面に共通する観察・記録・報告について学ぶ。
		日常生活援助技術 I	1	15	・生活環境を整えするための基本となる援助技術を学ぶ。
		日常生活援助技術 II	1	15	・運動と休息のバランスを整えるための基本となる援助技術を学ぶ。
		日常生活援助技術 III	1	30	・寝衣交換、清潔に関する基本となる援助技術を学ぶ。
		日常生活援助技術 IV	1	30	・食と排泄のバランスを整えるための基本となる援助技術を学ぶ。
		診断・治療を助ける援助技術 I	1	15	・診察、感染予防、呼吸循環を整えるための基本となる援助技術を学ぶ。
		診断・治療を助ける援助技術 II	1	30	・与薬、検査にに関する基本となる援助技術を学ぶ。
		看護基本技術	1	30	・学習した援助技術の原理・原則を踏まえて、患者の状況に応じた援助技術を修得する。
		看護過程展開の方法	1	30	・対象の見つめ方と看護過程展開の方法を学ぶ。
18 単位	510 時間	看護共通基本技術	1	30	・看護技術の概念と看護場面に共通する観察・記録・報告について学ぶ。
		日常生活援助技術 I	1	15	・生活環境を整えするための基本となる援助技術を学ぶ。

教育内容		授業科目	単位	時間	科目のねらい
	臨地実習 基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	・患者の療養生活と看護活動の実際を理解し、受け持ち患者に必要な看護の中で、指導者が実践する日常生活の援助に参加する。
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90	・教員、指導者とともに受け持ち患者に必要な看護を計画し、実施、評価する過程を学ぶ。
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護特性論	1	15	・成人看護の対象を理解し、健康を保持・増進するための看護を学ぶ。
		成人看護方法Ⅰ	1	30	・周手術期にある対象の看護を学ぶ。
		成人看護方法Ⅱ	1	30	・健康危機状況にある対象の看護を学ぶ。
		成人看護方法Ⅲ	1	30	・セルフケア再獲得を目指す対象の看護を学ぶ。
		成人看護方法Ⅳ	1	30	・セルフマネジメント支援を必要としている対象の看護を学ぶ。
		成人看護方法Ⅴ	1	30	・終末期にある対象の看護と成人期の対象の看護過程展開の技術を学ぶ。
	老年看護学	老年看護特性論Ⅰ	1	15	・高齢者と高齢者を取り巻く社会生活について学ぶ。
		老年看護特性論Ⅱ	1	15	・高齢者とその生活を理解し、支える看護の考え方を学ぶ。
		老年看護方法Ⅰ	1	30	・老年者の生活を理解し、健康増進から日常生活の援助方法について学ぶ。
		老年看護方法Ⅱ	1	30	・老年期にある人の健康障害の特徴、治療・療養の場における看護を学ぶ。
	小児看護学	小児看護特性論	1	15	・小児看護の対象、目的、小児を取り巻く社会を理解し、看護の役割を理解する。
		小児看護方法Ⅰ	1	30	・健康な小児の成長発達を理解し、成長発達を促すための看護を学ぶ。
		小児看護方法Ⅱ	1	30	・小児期の健康障害をもつ対象を理解し、対象に応じた看護を学ぶ。
		小児看護方法Ⅲ	1	15	・小児期の対象の看護過程展開の技術を学ぶ。
	母性看護学	母性看護特性論	1	15	・母性の特性と母性看護の役割と意義を考える。
		母性看護方法Ⅰ	1	30	・妊娠各期の特徴と看護を学ぶ。
		母性看護方法Ⅱ	1	30	・分娩期の形態機能の特徴と看護を学ぶ。
		母性看護方法Ⅲ	1	30	・産褥期の形態機能の特徴と看護を学ぶ。
	精神看護学	精神看護特性論Ⅰ	1	30	・人間の発達に関する知識と各年齢層の患者のもつ特徴を学び、看護に生かす。
		精神看護特性論Ⅱ	1	30	・発達障害に関する基礎的な知識を学ぶ。
		精神看護方法Ⅰ	1	15	・心に問題がある人への援助に必要な知識を学習する。
		精神看護方法Ⅱ	1	15	・精神障害をもつ対象の状態や状況に応じた看護援助を学ぶ。
	臨地実習 成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	2	90	・手術を受け健康危機状態にある対象の特徴を理解し、看護を計画的に展開する。
		成人看護学実習Ⅱ	2	90	・セルフケア再獲得を目指す対象の特徴を理解し、看護を計画的に展開する。
成人看護学実習Ⅲ		2	90	・セルフマネジメント支援を必要としている対象の特徴を理解し、看護を計画的に展開する。	
38 単位	臨地実習 老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	2	90	・老年期における対象の看護の必要性を認識し、看護を計画的に展開する。
		老年看護学実習Ⅱ	2	90	・在宅療養の前段階として、施設で生活している人への援助の実際を学ぶ。
1260 時間	臨地実習 小児看護学	小児看護学実習(保育園)	2	90	・健康な乳幼児の特徴を理解し、保育について学ぶ。
		小児看護学実習(小児病棟)			・小児期における対象の看護の必要性を認識し、病棟での看護計画に沿って看護を提供する。
	臨地実習 母性看護学	母性看護学実習	2	90	・妊婦・産婦・褥婦及び新生児の特徴を理解し、対象に応じた看護を実践する。
		臨地実習 精神看護学	精神看護学実習	2	90
統合分野	在宅看護論	在宅看護特性論	1	15	・在宅看護を必要とする対象の特性を理解し、在宅における看護の役割と機能を学ぶ。
		在宅看護方法Ⅰ	1	30	・在宅看護を必要とする対象の特性を理解し、在宅における看護の役割と機能を学ぶ。
		在宅看護方法Ⅱ	1	30	・在宅看護を必要とする対象の特性を理解し、在宅における看護の役割と機能を学ぶ。
		在宅看護方法Ⅲ	1	15	・在宅看護を必要とする対象の特性を理解し、在宅における看護の役割と機能を学ぶ。
13 単位	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1	30	・実習に向け、既習の知識・技術を統合し、対象に応じた看護を実践するための方法を学ぶ。
		看護の統合と実践Ⅱ	1	30	・リスクマネジメント能力、倫理的判断力を養うとともに、基礎的な知識・技術を統合し、対象の状態に応じた看護を実践するための方法を学ぶ。
		災害看護と国際看護	1	30	・施設内看護から視野を広げ、災害時・救急時の看護や国際看護を学ぶ。
		看護研究の基礎Ⅰ	1	15	・看護研究に必要な基礎的知識を学ぶ。
		看護研究の基礎Ⅱ	1	30	・良い看護実践を実現するための看護研究の基礎を学ぶ。
405 時間	臨地実習 在宅看護論	在宅看護論実習(訪問看護)	2	90	・在宅療養をしている人とその家族への援助の実際を学ぶ。
		在宅看護論実習(地域医療連携室・地域包括ケア病棟)			・地域における保健・医療・福祉の連続性と看護の役割を学ぶ。
	臨地実習 看護の統合と実践	統合実習	2	90	・複数の受持患者に対して、指導者と複数の学生が計画的に看護を展開する。
総計			103	3120	